

第57回 経営協議会 議事要録

日 時 平成28年 6 月 10 日（金） 13時30分～15時00分

場 所 事務局第二会議室

出席者 澤 和樹 学長、門岡裕一 理事、国谷裕子 理事
日比野克彦 美術学部長、迫 昭嘉 音楽学部長

石田義雄 委員、中村胤夫 委員、遠山敦子 委員
福井俊彦 委員、滝 久雄 委員、谷口維紹 委員

陪 席 監事：梅崎 壽 幹事、金井 満 監事

安良岡章夫 理事、保科豊巳 理事
光井 涉 副学長、松下 功 副学長
佐野 靖 学長特命（地域連携・大学連携担当）]
北郷 悟 学長特別補佐（上野文化の杜担当）
橘 芳久 学長特別補佐（機能強化担当）
松下 計 附属図書館長、秋元雄史 大学美術館長

欠席者 桐山孝司 大学院映像研究科長、高階秀爾 委員
熊倉純子 国際芸術創造研究科長
宮廻正明 社会連携センター長 [学長特命（産学連携担当）]
三田村有純 グローバルサポートセンター長 [学長特命（国際交流担当及び留学生担当）]
岡本美津子 学長特命（広報・ダイバーシティ推進担当）

○ 議長から審議に先立ち、経営協議会の新たな委員の紹介があり、引き続き門岡理事から事務系幹部職員の異動について報告があった。

議題

1. 平成27年度財務諸表（案）について

議長から標記のことについて提案があり、門岡理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。

2. 平成27事業年度に係る業務の実績及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書（案）について

議長から標記のことについて提案があり、門岡理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。

3. 平成29年度国立大学法人施設整備費概算要求について

議長から標記のことについて提案があり、門岡理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。

報告及び連絡事項

1. 東日本大震災により被災した平成 29 年度東京藝術大学入学志願者の検定料免除に関する要項等の制定について
安良岡理事より、資料に基づき報告があった。
 2. 平成 28 年度熊本地震により被災した平成 29 年度東京藝術大学入学志願者の検定料免除に関する要項の制定について
安良岡理事より、資料に基づき報告があった。
 3. 東京藝術大学平成 28 年度熊本地震被災学生授業料等免除及び徴収猶予取扱い特例要項の制定について
安良岡理事より、資料に基づき報告があった。
 4. その他（本学の取組について）
 - 澤学長から、藝術文化における本学の近況について報告があった。
早期教育プロジェクトの開催
平成 28 年 4 月 9 日 伊那、平成 28 年 5 月 16 日 福井
平成 28 年 4 月 14 日 ロンドン芸術大学とグローバル展開戦略に関する懇談
平成 28 年 4 月 21 日 馳浩文部科学大臣、宮田亮平文化庁長官来学
平成 28 年 5 月 11 日 アン・バリントン駐日アイルランド大使による学長表敬
平成 28 年 5 月 22 日 阿部晋三首相 バーミヤン特別展視察
平成 28 年 5 月 26 日 藝大 COI 拠点制作の高精細複製壁画「クローン文化財」が G7 伊勢志摩サミットで展示
 - 日比野美術学部長から、資料に基づき、とびらプロジェクト及びあいうえのの概要について報告があった
 - 松下附属図書館長から、資料に基づき、澤和樹学長の選曲・解説による SP レコードで 聴くハンガリー・ヴァイオリン楽派の系譜が平成 28 年 6 月 28 日に開催する旨報告があった。
 - 秋元大学美術館長から、資料に基づき、いま、被災地からー岩手・宮城・福島 of 美術と震災復興ー展を平成 28 年 5 月 17 日から 6 月 26 日まで開催している旨報告があった
- その他：（ご助言、ご提言等）
- SP レコードを活用し、世の中へ発信・展開してほしい。
 - 藝大の先生が地方に行き藝術文化を盛り上げている。各大学を巻き込み、システムチックに取り組むことを考えてほしい。
もっと、テレビ、新聞にアピールすることも必要。
 - 藝大はアクティブに変わり、ナショナルからグローバルに変わった。

- 澤学長の思い入れの強いところをどんどん進めてほしい。
協定を結ぶだけではなく、藝大がイニシアチブをとって、藝大固有のプロジェクト作り魅力を見せていく。そのツールとして協定していけばいい。

- とびらプロジェクト大賛成。市民を引っ張り込んで行うことが大事。
東京近辺は商店街が三千あり、半分が疲弊している。
留学生を徹底的に大事にする。

- 藝大は多くの取組を行っており、藝術と科学 共感覚イノベーションなど感銘を受けた。
定義に基づくのではなく、大学自ら打ち出してほしい。